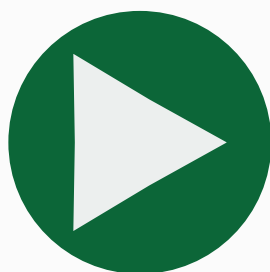


映像を使ったトークイベント

“Boys, Be gentlemen!”

～本音で話そう北大の今とこれから～

北大教職員、学生のもつ疑問をきっかけに制作したコント映像をはさみながら
北大の抱える問題をみんなで考えるトークイベントです。
北大に関係ない人でも誰でも参加可能。無料です。
聞き手として、そしてスピーカーとしての参加をお待ちしております。



日時：2016年2月24日（水）18:30-20:30

※当日会場で18:00よりCoSTEP映像メディア実習受講生の作品も上映予定。

場所：北海道大学・遠友学舎（南北線・北18条駅より徒歩10分ほど）

出演者：栃内新さん（北大FSC特任教授）

後藤洋平さん（法学研究科修士2年）

佐々木学さん（北大職員）ほか

その他：入場無料、参加申込み必要（当日参加も可）

参加フォームはこちら

<http://costep.hucc.hokudai.ac.jp/cs/honne/>



主催：北海道大学 高等教育推進機構 オープンエデュケーションセンター CoSTEP 映像メディア実習

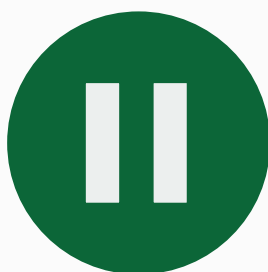
“Be Gentleman!” について

クラーク博士 といえば、「Boys, be ambitious! (少年よ、大志を抱け!)」という言葉思い出される方も多いのではないのでしょうか？

少し聞き慣れない主題の Boys, “Be Gentlemen!” ですが、札幌農学校で校則を作ろうとした時、クラーク博士が「校則は不要。“Be Gentleman” (紳士たれ) の一言で十分」と言ったという逸話から引用させていただきました。

それから 140 年ほどたった今、社会の隅々まで管理され、北大にもどこか本音を言えない窮屈な感じがしませんか？ クラーク博士の “Be, Gentleman!” という言葉は受け継がれているのでしょうか？

「ジンパ (ジンギスカンパーティー) 規制問題」「グローバル化教育のひずみ」「大学における研究費の問題」といった 3 つの切り口からスタートして、「北大の今、そしてこれから」について本音で話したいと考えています。



あまり深刻にならず、「楽しく、ポジティブに」をモットーに発議したいと考えています。そこで、問題提起のキッカケとして大学を題材とした本気の悪ふざけ映像 (コント映像) も準備しています。

そちらもお楽しみに。

当日は収録するものの、オフレコ話満載でお届けしたいと思います。

「危険な」話は映像ではカットしますので、安心して会場にお越しください。



超お金が無い研究室編



ウルトラスーパーグローバル授業編